

農業委員会だより



おんな神輿（網野町三津地区）

10月13日に行われた三津喧嘩祭(八幡大明神)において、今年初めておんな神輿が地区内をねり歩きました。

写真提供／末次 美郎^{よしろう}さん

● 目 次 ●

2～3P 農を語る 古嶋 澄直さんご夫妻（久美浜町）

建議書

4～5P 農地パトロール
耕作放棄地対策の取り組み

6P ぼいす ー声ー 小石原 潔 委員

7P 賃借料情報

8P 京丹後アグリ瓦版

9P 京丹後紀行「あそび石」

10P 丹後の郷土料理 ーイノシシの猟師鍋ー

農を語る

古嶋こじま

澄す 直なおさん
まり子さん (64) (72)
(久美浜町)



久美浜町栄町在住の古嶋澄直さん、まり子さんご夫婦に話をうかがいました。

訪問先は作業場。稲刈り真っ盛りの9月9日の作業場では5台の乾燥機がフル運転で稼動して、これはもうライスセンターです。

訪問した時もたくさんの乾燥機が轟々と唸り声をあげている中、車座になって話を聞かせていただきました。

この設備は7年前、将来農業をすると言っている息子の言葉もあり、思い切って設備投資し、乾燥機5台、籾摺り機、計量機、色彩選別機を導入しました。

現在、久美浜町内一・二区の水田を中心に水稻栽培を展開しています。特に一区では、近年離農される方が増えていて、その中の多くの農地を集約して耕作しています。



▲仲の良い古嶋さんご夫婦

栽培面積は約9 haでコシヒカリを中心に酒米も栽培しています。

転作は保全管理も含め3.2 haで九条ネギ、玉ねぎ等を栽培しています。

農家から作業を受託している農地が、12から13 haあります。これらの作業を行うために、繁忙期には4人の雇用を含め6人で作業をしています。稲刈りは、4条刈りの大型コンバイン2台で私と妻で行ない、初めは私が難しいふち刈りをして、次に妻が中を刈る等、阿吽の呼吸で作業を進めています。

栽培方法は減農薬で、近年は液肥を利用して栽培しています。乾燥・調整が済んだコメは全量JAへ出荷し、3年前からフレコン出荷を行い作業労力や、出荷コストの軽減を図っています。

農業をされていて楽しいことは

澄直さん

黄金色に実った稲を収穫する時です。収穫が多いと喜びがもっと大きくなります。

まり子さん

楽しいことは、夫婦で一緒に外で仕事ができることです。

大変なことはどんなことですか？

澄直さん

農業はどうしても天候に左右されるので、毎年天候が気にかかります。災害等に遭わず収穫できるということです。

まり子さん

大変なことは、年をとるにつれて、足腰が弱くなっていることが一年一年よくわかります。

これからの農業について

若い人が希望を持ち、喜んで後を継いで取り組める農政を期待します。そして、若い後継者がどんな育ってほしいです。

農業委員会に

期待することは？

農地の上手な活用、またこんな補助制度がある等、丁寧な説明をどんな零細な農家にもしてほしい。

取材メモ

昨年、大きな手術をされた澄直さん。農業が大好きだと言っておられ、とても遅いまり子さんと一緒に、これからも仲良く農業に取り組んでいきたいと思っています。そして、久美浜町一区の農地を守る取組みの先頭に立って頑張ってもらいたいです。

(取材：大場耕作委員)

節税

支払った保険料は全額
社会保険料控除の対象。
じゃえじゃえじゃえ！

節税

節税につな갑니다！
老後の備えは国民年金プラス
農業者年金が基本です！

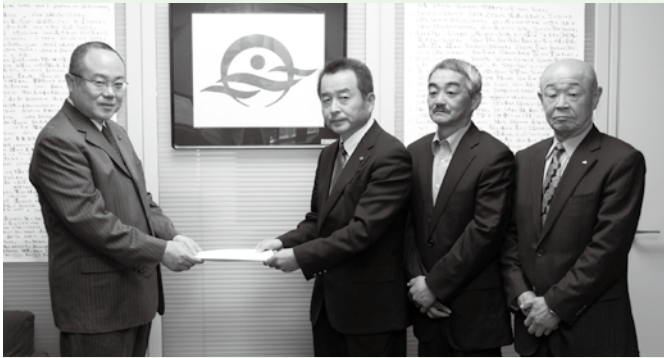
凄いや税金

しっかり積み立て、がっちりサポート
安心して豊かな老後を
農業者年金

終身年金で80歳までの保証付です

詳しくは、農業委員会またはJA、あるいは農業者年金基金へお問い合わせ下さい。

【用語の説明】
フレコン出荷とは、通常30 kgの米袋に玄米を詰め出荷するが、約600 kgを詰められる「フレキシブルコンテナバック」という、大袋で出荷する方法



平成26年度 京丹後市農業施策に対する 建議書を提出しました

農業委員会では11月6日、中山市長に平成26年度の農業関係予算及び農業施策に反映されることを願い、農業委員会等に関する法律第6条第3項に基づき建議書を提出しました。

1 野生鳥獣害対策の強化について

市内では、水稻を中心として国営開発農地畑、海岸沿いの砂丘畑、梨を中心とした果樹栽培等多様な農業が営まれている。鳥獣被害も多様で猪、鹿、熊、猿、カラス等全域的に防護対策なしには農作物の作付ができない状態となっている。

特に、熊や猿においては、農産物への被害だけでなく、住民への傷害の危険性が危惧される。

京都府では、熊は保護動物に指定され、捕獲が禁止されており、猿についても捕獲頭数が厳しく制限されているが、被害の実態とこれらの動物の個体数を調査し、適切な個体数管理を徹底されたい。

- (1) 個体数適正管理のための捕獲員の確保
- (2) 隣接自治体と連携した広域的な被害防除の取組
- (3) 捕獲個体の処理体制の整備
- (4) 防護柵等設置への支援強化

2 優良農地の確保と有効利用について

- (1) 耕作放棄地発生防止のため総合的な対策を講じられたい。
- (2) 「中山間地域等直接支払い制度」「農地・水・環境保全向上対策事業」など全地域が参加できるように地域が取り組みやすい行政の指導・事務的な支援をお願いしたい。
- (3) 「人・農地プラン」の推進のため、集落への指導体制を整備されたい。
- (4) 農用地利用集積を進めるに当たっては、モデル地区を設定するなど具体的な事業推進を図られたい。

3 担い手対策について

平成25年度から「丹後農業実践型学舎」が始動し、国営開発農地畑を基盤とした農業の担い手の育成が期待されているが、昨今の農業・経済情勢は非常に厳しく、学舎を卒業する2年後の就農時には、資金をはじめ総合的な支援が必要と思われる。

また、新規就農者対策だけでは担い手対策は不十分であり、既存農家の後継者を確保する施策を講じられたい。

- (1) 農業経営者会議など農業者の組織への更なる支援をお願いしたい。
- (2) 新規就農者だけではなく、農業後継者への就農支援対策の強化を図られたい。
- (3) 農地の荒廃を防ぐため、集落営農組織への支援策を強化されたい。
- (4) 営農支援事業等の情報提供の充実化を図られたい。

4 営農支援について

水田農業対策について

農業者戸別所得補償制度が継続されるようご尽力をお願いするとともに、円滑に生産調整が実施されるようご指導をお願いしたい。

- (1) 「京丹後市地域農業再生協議会」がリーダーシップをとって生産調整に対応していただきたい。
- (2) 水田農業対策について、不公平感が生じない適正運用に努められたい。
- (3) 売れる米作り対策について、良食味生産拡大に積極的な支援をお願いしたい。

丹後国営開発農地対策について

市内の葉たばこが廃作となつてから、まだそれに替わる作物が見つからない状態である。早急に推進策を講じていただきたい。

- (1) 丹後国営開発農地の利用権設定の更新が順調に進むよう取り組んでいただきたい。
- (2) 葉たばこの代替えとなる農作物の、早急な導入対策を講じられたい。
- (3) 農業生産法人と農外法人の農業への参入において、既存地元農家との土地利用について、より緊密な連携と調整を図られたい。
- (4) 国営農地に設置されている農業用施設の更新及び改良を図られたい。

京丹後ブランド品生産のあり方と流通対策について

京丹後市の農産物について様々なメディアで情報提供がなされ、消費者の関心や評価が高まっている。今後、ブランド産地として発展するには農家を組織化し、安定した生産・供給体制を確立する必要がある。そのためには、関係機関が連携して産地化の取り組みを進める必要がある。

- (1) 各種農産物の数量把握の取組みを強化されたい。
- (2) 平成24年産米において、丹後産米は多くの関係者の努力で「特A」を獲得することができた。「特A」を継続獲得するためにJAを中心とした生産組織の更なる連携強化を図られたい。
- (3) 京丹後産農産物をブランド化するには、品質の向上とともに、安定した生産・供給体制の確立が不可欠であり、JAを中心とした生産組織の連携強化を図られたい。

5 循環型農業の取り組みについて

- (1) バイオマス液肥の有効利用についてさらなる実証を積み重ね、「環のちから」のPRに努め、市民の理解を得ていただきたい。
- (2) 京丹後市内で生産される畜産農家の堆肥を市内で有効に還元する方策を確立されたい。
- (3) 国営開発農地の土作りにたいして支援をしていただきたい。
- (4) コウブトリが生息し続けることができる自然にやさしい農法の普及拡大に努められたい。

6 地産地消の推進について

- (1) 京丹後市産の農水産物の学校給食での積極的な利用を、地産地消という点から京丹後市としても考慮をお願いしたい。
- (2) 地場産品を地元で販売する取り組みへの積極的な支援をお願いしたい。
- (3) 食育基本法を積極的に活用し、地元の農水産物を食する伝統的な日本型食生活の良さを次世代に伝える活動を推進していただきたい。

7 農業委員会の体制強化について

改正農地法が施行され、農業委員会の日常業務は非常に多忙となっています。円滑な業務遂行のために、京丹後市のさらなる支援を図られたい。

8 原子力発電所事故に伴う放射能災害への取り組みについて

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故による稲わらや土壌の汚染、風評被害は、福島県のみならず、近隣の都道府県にまで大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、府内農産物等に係る必要な検査や適切な情報提供など国・府と連携し、万全な対策を講じられたい。

9 TPP交渉について

平成25年3月15日、安倍内閣総理大臣よりTPP交渉参加表明がなされ、現在年内の協定成立に向けて参加国の間で交渉が行われている。農業分野では、我が国農業の重要5品目(米、麦、牛肉、豚肉、乳製品、甘味資源)の関税撤廃除外が主な交渉内容となっている。

TPPは、農業に限らず我が国の社会システムを大きく変える可能性のある危険なルールづくりであるにもかかわらず、交渉の内容自体が不透明であり、国民全体で議論し、判断するための情報公開がなされていない。

交渉の内容について広く国民に情報公開を行い、国益を損なうことが明らかになった場合には、交渉から撤退するとともに、日本の農業を守る施策を推進するよう政府に働きかけていただきたい。

農地パトロールを行いました!!

京丹後市農業委員会は8月21日に管内の農地パトロールを行いました。農業委員により毎年実施するこのパトロールは、農地の違法転用がないか、申請どおりの計画で転用等が行われているかなど確認しています。今年には新体制となった農業委員がまとまって行う初めてのパトロールであり、遊休農地となっていた水田を耕作放棄地再生利用事業により再生した田や、今後、再生される予定の耕作放棄地を現地確認し研修を行いました。違法な開発や利用がされないよう、農地パトロールを続けますので皆様のご協力をお願いいたします。



「耕作放棄地対策の取組み」

農業を取りまく情勢は非常に厳しく、米価の下落、猛暑やゲリラ豪雨、加えて鳥獣被害等栽培環境も厳しさを増しています。

現在ではTPP参加問題や生産調整制度の廃止に向けた検討がなされているなど、先が見通せない課題が山積しています。京丹後市でも農家の高齢化や収益性の悪さから若者の新規就農も進まず耕作放棄地も年々増加傾向にあります。

耕作放棄地の現状を見ると山間部の谷間等生産性の面で厳しいと思われるところから、平野部に点在しているところまで様々です。

その様な中で京丹後市では農地をこれ以上荒廃させることなく、また、耕作放棄された農地をもう一度再生し活用していく取り組みを進めています。農

家個人の経営努力だけでは一定の限界があります。小規模な農家が一定の収益を確保し農業を継続するには、今後益々集落営農や農業法人化、又、生産グループによる農業経営が重要になってくると考えられます。

また、米だけではなく京丹後市の特産物といえる作物を育てることも重要です。

近年網野町で新たな取り組みとして、若い農家グループにより市場でも評価の高い砂丘甘藷を特産物に育てようと、放棄地を再生することにより作付面積の拡大を計画し実践しています。

平成25年度の作付面積は約9haで、その内0.8haを放棄地再生により拡大し、更に現在0.6haを耕作放棄地再生の取り組みを行っています。

平成26年度に向けては更なる作付面積の拡大を図るため、耕作放棄地の中から適地を選び再生する計画で、砂丘甘藷の特産化に向け意欲的に活動されています。

水田では米に代わるその様な特産物は育っていない状況ですが、今後の農政の変動を見通した有利販売のできる作物の選定も避けては通れない重要な課題になってくると考えられます。

今後、各地域で将来の地域の農業、更には農地をどうしていくのか、しっかりと話し合っ計画を立てて頂きたいと思っています。

京丹後市はその計画作りを「京丹後市農業再生計画」として推進しており、そうした取り組みをサポートしています。

将来とも安定的に食糧を供給できるように、また、次の世代に渡せるような農地を守っていききたいものです。



▲再生された農地での甘藷の収穫作業

遊休農地活用推進員
田上 義治

お知らせ

利用権設定における賃借料情報

平成24年1月から12月までに締結(公告)された賃借権における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりとなっております。利用権を設定する際の参考にして下さい。



1 田(水稻)の部

京丹後市農業委員会

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	9,200	13,000	3,100	44	
大宮町	6,900	10,500	5,000	24	
網野町	7,700	9,200	6,500	7	
丹後町	14,800	18,000	8,600	279	
弥栄町	8,700	13,000	3,200	312	
久美浜町	10,000	14,700	3,500	54	
(参考)京丹後市平均	11,100			720	

2 畑の部



締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	15,000	15,000	15,000	22	国営農地
大宮町	10,100	14,000	10,000	230	国営農地
網野町	12,800	15,000	5,000	72	一般畑 国営農地
丹後町	0	0	0	0	利用権設定 実績なし
弥栄町	15,000	15,000	15,000	30	国営農地
久美浜町	15,300	17,000	15,500	17	国営農地
(参考)京丹後市平均	11,500			371	

※現在、農業委員会では利用権設定にかかる終期通知を耕作者に通知しています。引続き利用権設定の更新等にご協力ください。



「私が目指す農業」

小石原 潔 委員
(網野町新庄)



私は、現在48歳です。農業を始めたのは40歳の時からです。以前はJAに勤務していました。私が就農するまでは両親が水稲8ha、葉タバコ1.3haを耕作しており休日には手伝をしていました。

以前から40歳になるまでには、農業を始めたいと思っていましたが、葉タバコ栽培を止めることが決まり、水稲だけでやっていくのか心配でしたが、水稲の規模拡大を図っていくことで農業をしていく覚悟をしました。

はじめの1〜3年間は、親父に教えてもらったり、どなたかたりして作り方、または管理の仕方などを学びとろうと一生懸命でした。そして、経営を任せ

られるようになったときは「うれしくもあり不安でもありました」が、頑張っで行こうと思いをしました。

今では、水稲の耕作面積が15haになり3品種(コシヒカリ・ミルキークイーン・新羽二重)の水稲を耕作しています。春3月から10月頃までは忙しく働いている毎日です。

今後は、耕作地の地質にあった肥料や農業を考え、その土地の地力をうまく引き出す為には何をしなければいけないかを体験や経験を通じて研究し、良い物を提供していきたい。その為には、肥料、農薬等の使用過程を見直して有機栽培、低農薬等の自然にやさしい農業にも取り

組んでいきたい。美味しい米作りを追及して自分ブランドを作り上げたいと思っています。

これからの農業がどうなるのか不透明な時代になり、試行錯誤してこの時期を乗り越えて行かなければならないと思っています。

何よりも将来に夢を持って農業をやっていききたい。



丹後産コシヒカリ
イメージキャラクター
こしたん

全国農業新聞を購読してみませんか?



全国農業新聞は公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。週刊 金曜日発行 月600円、年7,200円(消費税込み)



▶人気の栃もちぜんざい

京丹後紀行

『あそび石』

— 久美浜町奥山 —



久美浜町奥山は、史話に大坂落城の節、残党が逃避し、隠れ住んだ所ともいわれているが、なるほどとうなずける地形である。

この隠れ里のような奥山集落「奥山自然たいけん公園」の中に、食事処茶屋「あそび石」はある。

店名の由来は、奥山の頂上に、畳三畳ほどもある三つの平らな石があり、月夜の晩、よろずの神々が、笛や太鼓を打ち鳴らして、この石の上で酒盛りをしたという伝説から名付けられたという。

秋の好日、知人のM君と、付近の散策も兼ねて訪れた。地元産の新鮮な食材を使った「お母さん」こと、石田美代子さんの心のこもった「お・も・て・な・し」料理に舌鼓。残念ながら、平日のためいただけなかったが、土・日には、娘さん手作りのケーキも出されるとか。

心和む山の茶屋で、川向かいの名水「奥山の清水」を使ったコーヒーをいただきながら、散りゆく紅葉を愛でつつ、ゆったりとした時間を過ごしてみたいかが？

文 鴨田 忠司

田んぼの守り神

若手農業者で構成される「百姓一揆」の絶景田では、5月に田植えをした「丹後こども園の園児」たちによりすえつけた、巨大な案山子が大切なお米を守っています。

▶丹後町筆石の絶景田にて
ペットボトルで作られた巨大案山子



間人けんか祭り

丹後町間人で漁師の気質に代表される勇壮なる屋台の巡行と向地の三差路で繰り広げられるけんか屋台が有名で、大勢の見物客で大変な賑わいとなっています。

祭

舟木の踊子

(弥栄町船木)

京都府
指定無形
民俗文化財

子供の減少が進むなか、地域の方々により伝統が引継がれています。(写真提供/平田貫治さん)

長岡太刀振り (峰山町長岡)

長岡太刀振り保存会により継承され今年約50人の子供たちによる華麗な太刀振りが披露されました。

弥栄・丹後

秋の祭典2013

11月4日弥栄町で、弥栄・丹後町合同の収穫祭が行われ、ステージでは、よさこい踊りや餅まきがあり、来場者の方々の熱気に包まれていました。

また、販売ブースでは新鮮な野菜などが並び、多くの人達でにぎわっていました。



●丹後の郷土料理

イノシシの猟師鍋

【材料】 4人前

猪肉 1kg ロース又はもも肉
 白菜 1/3個 (脂のある部位が美味)
 ネギ 1本
 大根 小1本
 ごぼう 2本
 椎茸 4枚
 しめじ 1袋
 水菜 1束
 油あげ 2枚
 焼豆腐 1丁
 筍 1ヶ (缶詰でよい)

【作り方】

猪肉はたっぷりの水から煮てアクぬきをします。
 アクをていねいに何回も取ることで臭みのない美味しい出汁が出来ます。(この手間が一番のコツです)
 調味料を砂糖、酒、味噌、醤油の順に入れ好みの味にします。
 野菜は、大根、ごぼう等固いものから煮る。
 次に好みの野菜を入れます。

【ひと言】 川淵 明美委員



人が山に入らなくなった猟師の高齢化、暖冬の影響等々動物の活動範囲が広がって来て、農作物を食い荒らす被害が深刻化しています。
 自然の恵みを生かし、田舎の料理の一つとして猪鍋を食べて下さい。



農業委員交代のお知らせ

9月4日より土地改良区推薦の農業委員の交代がありました。



退任 立野 定
 (網野町郷)

新任 東宇 義夫
 (丹後町徳光)

広報編集委員の紹介

今号から新体制で始動しました。取材の際は、皆様方のご協力をお願いします。



後列右から

前列右から

澤 幸信委員
 川淵 明美委員
 吉岡 茂伸委員
 谷口 光委員
 瀬戸 牧男委員
 大場 耕作委員
 山副 孝雄委員
 嶋田 忠司編集長
 米田 春美委員
 右土
 金羽 廣明委員